

ま え が き

横浜市では、昭和 48 年度からほぼ 3 年ごとに、市内の川や海に生息する生物を調査して、その結果を公表してまいりました。これは、生物をとおして川や海の水質や環境の現状を多くの市民の方々に理解していただき、環境活動への取り組みを一層推進していただくことを目的としております。

今回は第 11 回目にあたり、平成 17 年度に行った海域の魚類調査の一部と平成 18 年度に行った海域の魚類、海岸動物、底生生物、プランクトン、海藻・海草の調査結果を本報告書として取りまとめました。

本市は、平成 16 年に改訂した「横浜市環境管理計画」のなかで、水域ごとに指標生物等をはじめとした水環境目標を掲げ各種の施策を推進するとともに、横浜市基本構想（長期ビジョン）と連動した「横浜市水と緑の基本計画」を策定し、水と緑が一体となった総合的な施策を推進しています。

水質の改善や生物多様性を基本にした水環境の保全・創造に係わる取り組みを推進するための基礎資料として、本報告書を活用していただければ幸いです。

平成 19 年 3 月

横浜市環境創造局長 橋本 繁

横浜の川と海（第 11 報 海域編）；株式会社水生生物生態研究所委託業務
（魚類相の一部；平成 17 年度、国際生態学センター委託業務）